

国立循環器病研究センターとの共同研究について



「学校給食を活用した子供の適切な食塩摂取に向けた食育」

ライフコースでの循環器病予防を見据えた食育の展開 <学齢期（小学生） ⇄ 子育て世代>
 【事業の柱】 1 献立研究・開発 2 研修（共通理解） 3 給食を通じた食育 4 評価と課題整理

【目的】

- 1) 子供の頃から食塩の摂取を意識した食生活を身につけて継続し、将来の生活習慣病を予防・健康寿命の延伸を計る
- 2) 小学校給食を活用して児童に「知ってもらい」、バックヤードの「家庭(子育て世代)」への意識付け・気づきを促がす
- 3) 家庭でできる継続的な「減塩」を目指し、生活習慣病の予防につなげる


【目標】

- 1) 2024 年度末に小学校給食の食塩摂取量を月平均 2.0g 未満にする（学校給食摂取基準の改訂 2.5→2.0g に減塩）
- 2) 2024 年度末に、食生活の改善を促す食育プログラムを開発する

【共同研究期間】

令和 4 年度～令和 6 年度（3 年計画・単年度で見直し）

【事業の柱とその取り組み】

| 事業の柱 | 内容 | 目指す効果 |
|--------------------------|---|--|
| 1 献立研究・開発 | ①調理施設・衛生管理面などの給食管理全般において、小学校給食と国循との違いの理解 ②既存献立のアレンジ ③新献立の開発（かるしおレシピのアレンジ） ④試作検討（学期単位で検討） ⑤提供 <令和 5 年 1 月～> ＊立案時に数献立を取り入れる ⑥検証 | 減塩手法の気づき （工程・食材・調味料など）  大量調理向け・家庭向けの 「新しいかるしお手法」の研究 |
| 2 研修（共通理解） | 調理員研修、栄養教諭との意見交換 など | 事業に向けた意識の統一 |
| 3 給食を通じた食育 ～児童への働きかけ～ | ①「きゅうしょくのおしらせ」の活用等 ②開発献立提供時の、国循視察 ③献立提供時のアンケート実施 | →児童の把握（課題の把握と評価） →献立研究の成果・検証と評価 |
| 4 給食を通じた食育 ～家庭への働きかけ～ | ①国循・健まちのコラム発信（各 HP に掲載） ＊予定献立表に「コラム欄と二次元コード」掲載 ②ドキュメンタリー動画の撮影と活用 ③市報の特集 | 取り組みの発信 →令和 4 年 9 月分から掲載 →令和 5 年 1 月に HP、その他 →令和 5 年 1 月号 |
| | ①保護者へのアンケート実施 ②試食会・料理講座の実施 ③HP や紙媒体などでの、情報発信 | 意識調査 （3 年計画の成果の把握と評価） 取り組みの発信 |
| 5 評価と課題の整理 | ①献立提供時の評価（残菜量、学校・児童の評価） ②取り組み前の意識調査と年次的な効果の把握 ③児童・保護者対象のイベント開催 | 食育プログラムの開発 |